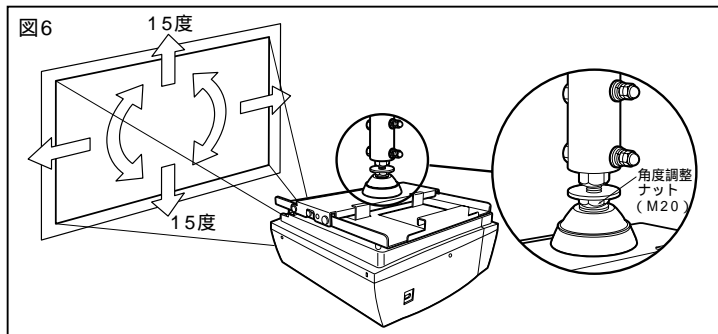


投写し、ズーム、フォーカス、角度調整をする

この取付金具は、水平垂直が容易に調整できるようにボールジョイント方式を採用しています。調整には、投写が必要です。液晶プロジェクターの取扱説明書をご覧ください。

1. 投写し、ズームとフォーカスを調整する。
2. 角度調整ナットのフランジ部を緩める。
3. 映像が水平・垂直になるように液晶プロジェクターの傾きを調整する。
 - ・上下各15度、左右各360度、左右傾き各15度まで調整できます。
4. 角度調整ナットのフランジ部を仮止めする。
5. 角度調整ナットを締める。(スパナM20用：現地手配)

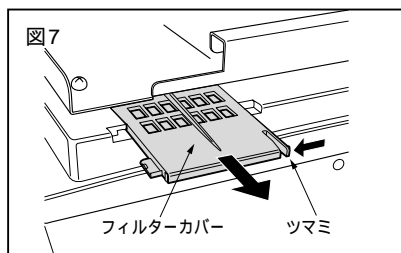


フィルターの清掃

盗難防止警報装置作動の停止をお奨めします。(P3参照)

くわしくは、液晶プロジェクターの取扱説明書をご覧ください。

1. フィルターカバーのつまみを押しながら矢印の方向に引き抜く。
2. フィルターを取り出し、新品と交換するか、水または中性洗剤でよく洗い、十分に乾燥させる。
3. フィルターをフィルターカバーに取付ける。
4. フィルターカバーを本体に取付ける。



ランプ交換

盗難防止警報装置作動の停止をお奨めします。(P3参照)

回動機構の使いかた(図8)

液晶プロジェクターを回動させる。

- ・1の回動機構固定ネジをはずす。(左右)
- ・3の取っ手を持って持ち上げ、2のフック部をはずし、さらに手前に引き、ゆっくりと降ろす。
- ・4の止め金具をかける。(左右)

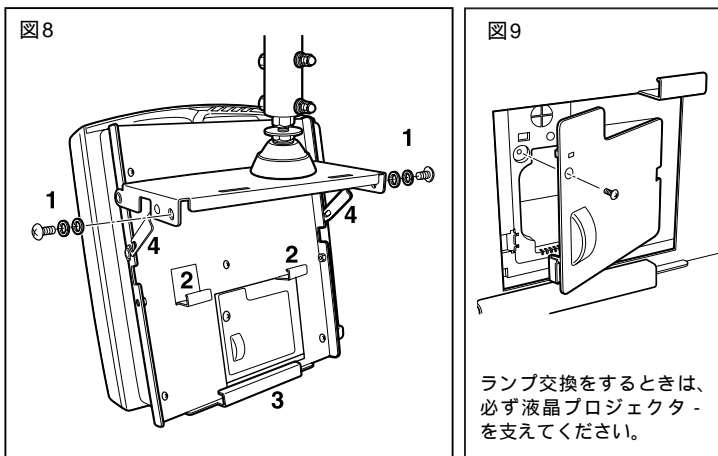
ランプ交換

液晶プロジェクターの取扱説明書を参照し、ランプを交換する。

液晶プロジェクターを元の姿勢に戻す

- ・4の止め金具をはずす。(左右)
- ・3の取っ手を持って持ち上げ、2のフック部を引っ掛ける。
- ・1の回動機構固定ネジを締める。(左右)

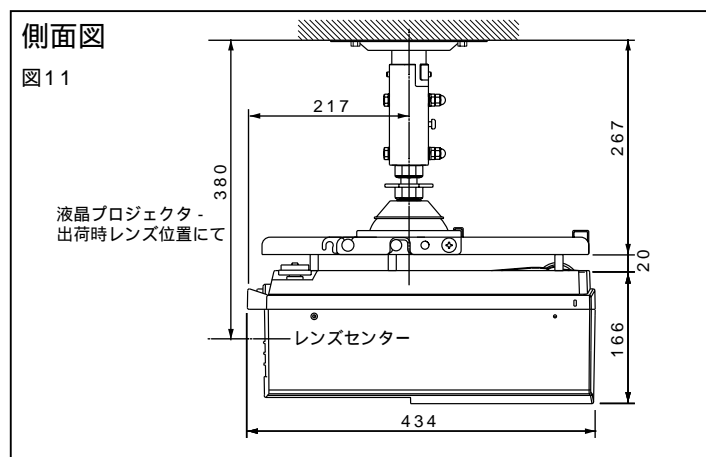
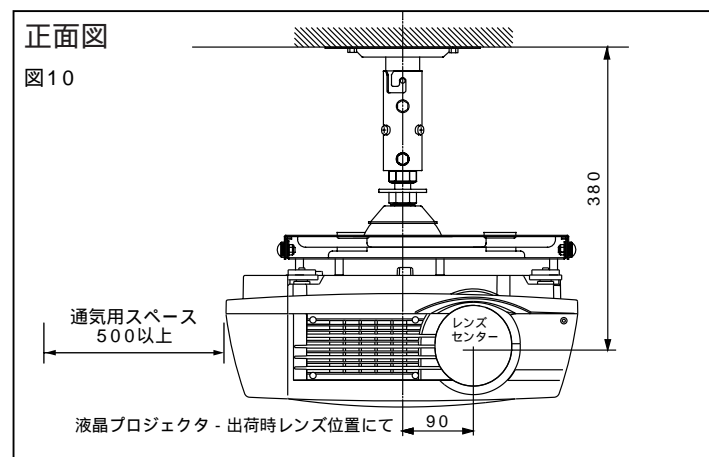
フィルター清掃および、ランプ交換の前に、必ず主電源のスイッチを切り電源プラグをコンセントから抜くか、ブレーカを付けている場合はブレーカを切ってください。



ランプ交換をするときは、必ず液晶プロジェクターを支えてください。

寸法図

単位：mm



MITSUBISHI

< 天井用取付金具 >

形名

BR-XL5950

組立・設置説明書

取付適合液晶プロジェクター
形名 LVP-XL5950 (本体質量9.0kg)

販売店・工事店さま用

組立・設置工事を始める前に必ずこの説明書をお読みにになり、正しく安全に行ってください。
組立・設置工事は工事業者にご依頼ください。お客さま自身で組立・設置工事を行わないでください。
組立・設置工事は必ず付属品をご使用ください。指定以外の液晶プロジェクター及び他の機器には使用できません。
天井用取付金具の本体総質量は4.6kgです。
(別売高天井用ポールBR-XL5950P使用時は7.0kg) (高天井用ポール BR-XL5950P)

安全のために必ずお守りください

組立・設置工事の前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ、行ってください。誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。

必ず天吊りボルト1本当たりの安全率が10以上(機器本体と天井用取付金具を合わせた総質量の10倍以上)になるように設置する	傾いた天井には設置しない 落下してケガや故障の原因になります。
液晶プロジェクターと取付金具の質量を十分に保持できる、強度のある場所を選んでください。強度の不十分なところに設置すると、天井用取付金具が落下し、ケガの原因になります。	本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う 落下してケガや故障の原因になります。

注意

誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

設置は、ワイヤーなどでゆれ止めの措置をする地震や振動で落下し、ケガの原因になります。	ぶら下がったりしない 落下してケガの原因になります。
火災報知器などの器具がないところに設置する器具などの誤動作の原因になります。	次のような場所に取付けない ・高温(40を越える)の場所 ・強い振動・衝撃のある場所
建物(構造物)に設置された天吊金具と、製品本体の電源アース間及び接続機器の電源アース間に、漏電がないことを確認する 漏電が発見された時は工事関係者あるいは、漏電している接続機器のメーカーに連絡し改善を図ってください。	配線後の電源・信号ケーブルは誤って引っ掛からない様、固定等処置する 液晶プロジェクターを天井取付金具に取付けた状態でランプ交換をするときは、必ず液晶プロジェクターを支えて行う

